

令和四年度 大学院人文科学府修士課程第二期入学試験問題

(中国哲学史)

※解答は答案用紙を横(受験番号欄を右位置)にして、縦書きで記しなさい。

一、次の項目から五つを選び、知るところをそれぞれ三〜四行で記しなさい。

- ①鄭玄 ②董仲舒 ③郭象 ④邵雍 ⑤戴震
⑥春秋三伝 ⑦論衡 ⑧通書 ⑨近思録 ⑩明夷待訪録
⑪陰陽五行説 ⑫格義仏教 ⑬聖人可学説 ⑭理気二元論 ⑮経世致用

二、次の中から一つを選び、知るところを具体的に論述しなさい。

- ① 魏晋時代における貴無論と崇有論の対立について。
② 儒教思想における天観の変遷について。

三、次の文章を書き下し文に改め、また現代語訳しなさい。(『周易正義』による)

「一陰一陽之謂道」○正義曰、一謂无也。无陰无陽 乃謂之道。一得为无者、无是虚无、虚无是太虚、不可分別、唯一而已、故以一为无也。若其有境、則彼此相形、有二有三、不得为一。故在陰之時、而不見为陰之功、在陽之時、而不見为陽之力。自然而有陰陽、自然无所營为。此則道之謂也。故以用言之为道、以數言之謂之一、以體言之謂之无。以物得開通謂之道、以微妙不測謂之神、以應機變化謂之易。總而言之、皆虚无之謂也。

四、次の文章を書き下し文に改め、また現代語訳しなさい。(『中庸章句』序による)

中庸何为而作也。子思子憂道學之失其傳而作也。蓋自上古聖神繼天立極、而道統之傳有自來矣。其見於經、則「允執厥中」者、堯之所以授舜也。「人心惟危、道心惟微。惟精惟一、允執厥中」者、舜之所以授禹也。堯之一言、至矣、盡矣。而舜復益之以三言者、則所以明夫堯之一言、必如是而後可庶幾也。蓋嘗論之。心之虚靈知覺一而已矣。而以為有人心・道心之異者、則以其或生於形氣之私、或原於性命之正、而所以為知覺者不同、是以或危殆而不安、或微妙而難見耳。